

社会体育館空調設備設置事業

1 目的及び趣旨

社会体育館において夏場の暑さ対策が喫緊の課題となっていることから、その対策として、体育館利用者が安全に利用できるようにするため、無人施設である社会体育館内に空調設備を試験的に設置し、環境改善につながるか検証を行うもの。

2 空調設備設置対象体育館

施設名	建築年度	アリーナ面積	構造	R5利用者数	備考
大豆島体育館	H28 (2016)	854㎡	鉄骨造	60,979人	利用者数が多い 個別施設計画:長寿命化 社会体育館の中で最も新しい (指定避難所)
裾花体育館	H4 (1992)	777.6㎡	鉄骨造	31,403人	利用者数が多い 個別施設計画:長寿命化 (指定避難所)

3 事業内容

(1) 機器の設置

・移動式エアコンを設置

体育館 1 棟当たり：3 馬力、冷房能力7.1kW × 4 台

移動式エアコンの主な特徴

- ・機械設備工事が不要
- ・冷やしたいエリアにレイアウト変更が容易
- ・未使用期間は器具庫等に保管が可能



(2) 実証期間

令和6年6月21日（金）から9月30日（月）まで

4 検証内容

- ・温度測定
- ・整備前後の電気使用量の比較
- ・同時期に冷房設備を設置する学校体育館との比較（固定式エアコンとの比較）
- ・無人施設での利用者にとっての使い易さ（アンケート等による聞き取り調査）

※館内の冷房使用記録簿または電子申請システムにより、使用者が感想等を報告

※本格的な設置については、検証結果等に基づき実施の可否を判断

社会体育館開館時間延長事業

1 目的及び趣旨

社会体育館において、一層の利便性向上を図るため、これまで開館してこなかった早朝、夜間の時間帯に利用可能なコマを追加で設定し、利用促進につながるか検証を行うもの。

2 開館時間延長対象体育館

施設名	建築年度	アリーナ面積	構造	R5利用者数	備考
更北体育館	H25 (2013)	902.85㎡	RC造	36,399人	利用者数が多い アクセス道路が整備されている 住宅地から離れている
芋井体育館	S62 (1987)	476㎡	鉄骨造	9,203人	中山間地体育館の中では利用者数が多い 住宅地から離れている

3 事業内容

(1) 開館時間の延長試行

【通常】 開館時間 8：30～21：00 1日6コマ

	8：30	10：30	12：30	15：00	17：00	19：00	21：00	
時間外	コマ①	コマ②	コマ③	コマ④	コマ⑤	コマ⑥	時間外	

【延長期間】 開館時間 6：30～23：00 1日8コマ

	6：30	8：30	10：30	12：30	15：00	17：00	19：00	21：00	23：00	
	コマ①	コマ②	コマ③	コマ④	コマ⑤	コマ⑥	コマ⑦	コマ⑧		
↑早朝追加									↑深夜追加	

試行期間 令和6年8月1日（木）から9月30日（月）まで

4 検証内容

- ・ 早朝、夜間における体育館利用ニーズの把握
- ・ ※本格的な実施については、検証結果等に基づき実施の可否を判断